

船舶事故等調査報告書

平成26年2月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013那第16号
事故等種類	運航不能（機関損傷）
発生日時	平成25年1月11日 15時15分ごろ
発生場所	沖縄県渡嘉敷村阿波連埼西方沖 阿波連埼灯台から真方位267° 2.9海里付近 （概位 北緯26°08.3′ 東経127°17.3′）
事故等調査の経過	平成25年3月27日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 なんせい丸、749トン 137052、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、初高汽船株式会社
乗組員等に関する情報	機関長、三級海技士（機関）
死傷者等	なし
損傷	ガバナーシステムのアクチュエータドライブユニットが焼損
事故等の経過	本船は、船長及び機関長ほか4人が乗り組み、コンテナ80個を積載し、阿波連埼西方沖を東進中、平成25年1月11日12時10分ごろ、ガバナーシステムエラーの警報が鳴り、主機が停止した。 船長は、主機の遠隔運転を試みたが、操舵室では主機の運転ができず、機側で主機の始動ができたので、沖縄県那覇港港口まで航行し、入港準備のためにスローダウンしたところ、15時15分ごろ主機が停止した。 船長は、海上保安庁に通報し、本船は、タグボートにえい航されて那覇港に入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 4、視界 良好
その他の事項	本船は、修理業者によって点検された結果、ガバナーシステムのアクチュエータドライブユニットに付属するリアクターユニットの配線取付部の焼損が発見された。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 あり なし 本船は、阿波連埼西方沖を東進中、ガバナーシステムのリアクターユニットの配線取付部が焼損したことから、主機の運転ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、阿波連埼西方沖を東進中、ガバナーシ

	ステムのリアクターユニットの配線取付部が焼損したため、主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
--	--